講義名	社会心理学
科目区分	学部フリーゾーン
担当教員	蜂屋　真
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 ４時限
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科／2018年度 人間社会学部 観光学科／2018年度 人間社会学部 人間社会学科／ 2018年度 経済学部 経済情報学科／2018年度 経済学部 経済学科／2018年度 商学部 マーケティング学科／ 2018年度 商学部 経営学科／2017年度 人間社会学部 人間健康学科／2017年度 人間社会学部 観光学科／ 2017年度 人間社会学部 人間社会学科／2017年度 経済学部 経済情報学科／2017年度 経済学部 経済学科／

履修開始年次	１年生	単位数	2	講義コード	14016

主題と概要

まず、社会心理学の研究対象、研究領域、研究法について講義する。次いで、社会的自己、対人認知、対人魅力、態度について講義する。最後に、集団と群集の心理について講義する。

到達目標

社会心理学の研究法、自己開示、バランス理論、態度、要請技法、社会的促進、社会的手抜き、同調、服従、流言、パニックなど、社会心理学の基礎的項目を理解している。

提出課題

授業の進行に従って、学生諸君に様々なレポートを書かせる。それを授業に反映し、活用する予定である

評価の基準

単元ごとに理解度試験を行い、期末試験の結果と合わせて成績を評価する。成績の点数配分は、理解度試験(30%)、期末試験（70%）である。

履修にあたっての注意・助言他

授業は板書を中心に行われ、ノートを取ることが必要である。試験問題はノートから出題される。
授業中出席チェックをかねたレポート作成を求めるが、これを予告なしにランダムに行う。従って、授業を欠席していると、単位取得が難しくなる。なお、授業は整然とした中行われるべきものであり、私語に対しては厳しく注意する。

教科書

.社会の中の人間理解：社会心理学への招待.　大坊郁夫・安藤清編　　ナカニシヤ出版 1900円

プリント資料及び参考文献

影響力の武器　Cialdini　（社会行動研究会訳）　誠信書房　1991
選択の科学　シーナ・アイエンガー　文芸春秋　2010

授業計画

1.社会心理学とは：研究対象、研究領域、研究法（ｐ7～ｐ18）
2.社会的自己（１）：自己の形成、自己の防御（ｐ19～ｐ33）
3.社会的自己（２）：公的自己意識、私的自己意識、自己開示（ｐ19～ｐ33）
4.対人認知（１）：印象形成、ＩＰＴ（ｐ34～ｐ49）
5.対人認知（２）：ステレオタイプの認知、バランス理論（ｐ34～ｐ49）
6.対人魅力（１）：美貌、態度の類似性、好意の返報性
7.対人魅力（２）：恋愛心理
8.態度（１）：態度の成分、形成過程、態度変容（ｐ82～ｐ98）
9.態度（２）：説得、要請技法
10.集団の心理（１）：集団参加の動機、凝集性、社会的促進、社会的手抜き（ｐ142～ｐ156）
11集団の心理（２）：同調、権威への服従（ｐ142～ｐ156）
12.集団の心理（３）：リーダーシップ、ＰＭ理論、条件即応モデル　（ｐ142～ｐ156）
13.群集の心理（１）：群集の分類、流言、流言が引き起こした事件
14.群集の心理（２）：逃走パニック、獲得パニック
15.まとめ

予習・復習

授業内容は、授業計画に付された教科書ページ箇所に対応する。予習として授業内容に対応する教科書の箇所を読んでおくこと。復習として教科書を活用し、さらに関連書籍を学習すること。

備考